2　地理歴史・公民

学校番号	１００９

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年前期
使用教科書	詳説世界史Ｂ　（山川出版社）						
副教材等	明解世界史図説　エスカリエ　八訂版（帝国書院）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2 学習の到達目標

・世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ，文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	第7章 アジア諸地域の繁栄	1．東アジア世界の動向	○	○	○	○	a 明朝の経済的繁栄と銀経済の進展，科学技術への関心を特色とする文化活動について，関心を持って学習しようとしている。 いわゆる鎖国体制をとった日本の対外関係の実態を確認しようとしている。 b 明朝が近隣諸国との間に築き上げた冊封＝朝貢体制の変化を，日本や女真などの動向を中心とした東アジアの状況と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている明の領域図や周辺諸地域図，14～16世紀の東アジア・東南アジア諸国の年表や図版などを適切に活用している。 d 明朝の発展による朝貢世界の確立とその動揺に関する基本的な知識を身につけている。 日本や女真を中心とした東アジアの状況の変化に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度
		2．清代の中国と隣接諸地域	○	○	○	○	a 清代の中国とチベットや琉球・日本・朝鮮といった隣接諸地域の動向に関して，関心をもって学習しようとしている。 b 清朝と周辺諸地域との関係の変化を，東南アジアの状況やヨーロッパ勢力の活動と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている清朝の領域図や周辺諸地域図，チベットや琉球の図版などを適切に活用している。 d 清朝の中国統治や宣教師によってもたらされた文化の特色，その隣接諸地域の動向に関する基本的な知識を身につけている。	
		3．トルコ・イラン世界の展開	○	○	○	○	a ティムール朝，オスマン帝国，サファヴィー朝の領域拡大の過程や興隆について，関心を持って学習しようとしている。 b 中央アジア，西アジアに成立した広大な版図を持つ各イスラーム諸王朝の支配の特色や共通点を考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されているオスマン帝国とサファヴィー朝の最大領域を示す地図や，モスクなどの図版を適切に活用している。 d オスマン帝国などのイスラーム帝国の強大な皇帝権や官僚制，ヨーロッパ世界との関わり，異民族統治の特色に関する基本的な知識を身につけている。	

		4．ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展	○	○	○	○	a インドにおけるイスラーム支配とヒンドゥー教徒との融和や対立について，関心を持って学習しようとしている。 イスラームの東南アジアへの浸透やヨーロッパ勢力の進出について，関心を持って学習しようとしている。 b ムガル帝国の支配の特色やその政策の変化を，インドの地方勢力に与えた影響と関連づけて考察し，文章にまとめる。 ポルトガルやスペインの進出と東南アジア交易世界の発展を，多面的に考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されているムガル帝国の領域を示す地図，インドや東南アジアの図版や写真を適切に活用している。 d ムガル帝国の統治システムやイスラーム教徒とヒンドゥー教徒融合の試み，インド地方政権の台頭，東南アジア交易世界の発展に関する基本的な知識を身につけている。	
	第8章　近世ヨーロッパ世界の形成	1．ヨーロッパ世界の拡大	○	○	○	○	a 新航路の開拓事業や征服活動と，それに伴うアメリカ先住民社会の変容や商業革命に関して，意欲的に学習しようとしている。 b 大航海時代を世界の一体化や資本主義経済発達の基盤と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されているヨーロッパ人の航路と探検図，世界地図やアステカ征服の図版などの資料を適切に活用している。 d 大航海時代の探検ｄ征服事業の過程とアメリカ先住民社会の変容に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度
		2．ルネサンス	○	○	○	○	a ルネサンスの背景と影響，芸術作品に関して，意欲的に学習しようとしている。 b ルネサンスを中世世界の継承・発展という側面と，近現代の出発点という両面から多角的に考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている作品群やルネサンス期の文化と美術の一覧表などを適切に活用している。 d ルネサンスの意義やその具体的な文芸と美術に関する基本的な知識を身につけている。	

		３．宗教改革	○	○	○	○	a 宗教改革の背景と影響，宗派や広がった国家による差異に関して，意欲的に学習しようとしている。 b 宗教改革やカトリック教会の革新を，世俗の政治秩序の変化と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている新旧両教派の分布地図や「九十五カ条の論題」などの資料，図版を適切に活用している。 d ルター，カルヴァンによる宗教改革の拡大，イギリスの改革，対抗宗教改革に関する基本的な知識を身につけている。	
		４．ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	○	○	○	○	a ヨーロッパ諸国がたがいに独立した主権国家として競合しながら国際秩序を形成していった過程を，関心を持って学習しようとしている。 b オランダｂフランスｂイギリスといったヨーロッパ諸国の勢力交替を，「17世紀の危機」の時代を境界として考察し，文章にまとめる。 ウェストファリア条約の意義や東ヨーロッパの動向を，プロイセンやロシアを軸に考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されているヨーロッパ主権国家の領域地図や内乱，戦闘の図版を適切に活用している。 d 15世紀末からヨーロッパ諸国が主権国家体制を確立していった過程に関する基本的な知識を身につけている。 三十年戦争に代表される，17世紀前半の「危機の時代」におけるヨーロッパ諸国の動向に関して，基本的な知識を身につけている。	
	第９章　近世ヨーロッパ世界の展開	１．重商主義と啓蒙専制主義	○	○	○	○	a イギリス革命やフランスを中心とした国家間の抗争，東ヨーロッパ諸国の台頭を，関心を持って学習しようとしている。 b 17～18世紀のヨーロッパ諸国の活発な経済活動と植民地争奪戦争を，重商主義と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている18世紀半ばのヨーロッパ諸国の領域をあらわした地図や図版，王家の系図や「権利の章典」などの資料を適切に活用している。 d 議会政治の確立したイギリス，ルイ14世の時代のフランス，プロイセンとオーストリアの抗争，バルト海の覇権をめぐる戦いなど，17～18世紀におけるヨーロッパ諸国の動向に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度

		2．ヨーロッパ諸国の海外進出	○	○	○	○	a アジア市場とアメリカの植民地をめぐるヨーロッパ諸国の抗争の過程と，三角貿易のもたらした国際的な社会・経済の変化について，関心を持って学習しようとしている。 b 大西洋世界で確立した三角貿易が西ヨーロッパ有力国にもたらした莫大な利益を，産業革命の前提条件である資本の蓄積と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている17世紀半ばのヨーロッパ諸国の植民地をあらわした地図，社会風俗の図版などを適切に活用している。 d 西ヨーロッパ諸国の経済活動と植民地争奪戦争の状況，その結果としてアメリカ・アフリカを巻き込んだ大西洋世界に近代分業システムが成立したことに関して，基本的な知識を身につけている。	
		3．17～18世紀のヨーロッパの文化と社会	○	○	○	○	a 科学革命と啓蒙思想を背景とするヨーロッパの文芸思潮について，関心を持って学習しようとしている。 b 17～18世紀におけるヨーロッパ文化の特色を，宮廷文化と市民文化とを対比しながら考察し，文章にまとめる。 c バロックやロココの美術作品の図版や啓蒙思想家の著作から，その文化の特色に触れることができている。 d 科学革命や国際法，啓蒙思想，バロックやロココの芸術の具体的事例と，それを生み出した背景や社会状況に関する基本的な知識を身につけている。	
	第10章　近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	1．産業革命	○	○	○	○	a 産業革命の世界史的背景，技術革新や交通革命の進展と波及について，関心を持って学習しようとしている。 b 資本主義体制の確立と社会の変容について，社会問題・労働問題と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている産業革命期の地図や図版，都市の人口増を示す表などの諸資料を適切に活用している。 d 産業革命が最初にイギリスに起こった理由，繊維部門の技術革新と交通機関の改良，資本主義体制が世界市場に与えた影響などに関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度

		2．アメリカ独立革命	○	○	○	○	a 共和政の大国を確立したアメリカの独立と，その憲法の内容や思想的背景を関心を持って学習しようとしている。 b アメリカ独立革命が提起した近代市民社会の原理を，現代社会の諸問題と対比しながら考察し，文章にまとめる。 c 「独立宣言」の抜粋などの資料から，近代民主政治の基本原理に触れることができている。 d イギリスの北アメリカ植民地の状況，独立戦争の経過と合衆国憲法の特徴に関する基本的な知識を身につけている。	
		3．フランス革命とナポレオン	○	○	○	○	a フランス革命の経済的，思想的背景について関心を持って学習しようとしている。 ナポレオンの政策と革命の継承点について，関心を持って学習しようとしている。 b フランス革命を大西洋を挟んで起きたアメリカ独立革命と対比しながら考察し，文章にまとめる。 ナポレオンの戦争を，国民国家の理念をヨーロッパ諸国に広げたことと関連づけて考察し，文章にまとめる。 c 「人権宣言」や革命期のおもな党派などの資料，ナポレオンの活動を表現した絵画や図版などを適切に活用している。 d フランス革命が起こった社会構造，恐怖政治に至る革命の進展過程に関する基本的な知識を身につけている。 皇帝ナポレオン誕生の背景やその大陸支配の経過に関する基本的な知識を身につけている。	
	第11章　欧米における近代国民国家の発展	1．ウィーン体制の成立	○	○	○	○	a ウィーン体制の特色とその崩壊過程，社会主義思想の成立と普及について，関心を持って学習しようとしている。 b 1848年革命を，ヨーロッパの「大衆貧困」といった社会問題と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されているウィーン会議後のヨーロッパ諸国の地図や絵画 c 図版などを適切に活用している。 d フランスの革命運動を中心に，ウィーン体制を崩壊させたヨーロッパ諸国の自由主義や民主主義的な政治改革の動向に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度

		２．ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生	○	○	○	○	a ロシアの南下政策とそれに伴うヨーロッパ列強の対立，イタリア・ドイツの統一の背景や過程について，関心を持って学習しようとしている。 b クリミア戦争以後の国際対立とビスマルク外交に関して，のちの第一次世界大戦に関連づけて考察し，文章にまとめる。 イタリア・ドイツの統一を日本の明治維新と比較しながら考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されているイタリアとドイツの統一，ベルリン会議後のバルカン半島といった地図や，写真・図版などを適切に活用している。 d クリミア戦争とロシアの皇帝主導の近代的改革，ヴィクトリア時代のイギリスの繁栄，フランス第二帝政とその崩壊，イタリア・ドイツの統一とビスマルクによる協調外交といった，ヨーロッパ諸国の国民国家形成期の基本的な知識を身につけている。	
		３．南北アメリカの発展	○	○	○	○	a ラテンアメリカ独立後における社会 a 経済の状況を理解しようとしている。 アメリカ合衆国の西部への領土拡大が，独自のものの考え方や行動様式をはぐくんでいったことを学習しようとしている。 b 環大西洋革命の視点から，ヨーロッパ諸国の動向とラテンアメリカの独立を関連づけて考察し，文章にまとめる。 アメリカ先住民や奴隷解放後の黒人への抑圧を，現在の人種・民族問題と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されているラテンアメリカの独立，アメリカ合衆国の領域拡大を示す地図や写真・図版などを適切に活用している。 d ラテンアメリカの独立の経過，アメリカ合衆国の西部への領土拡張や，南北戦争以後，世界一の工業国として発展したことに関する基本的な知識を身につけている。	
		４．19世紀欧米の文化	○	○	○	○	a 19世紀欧米の文芸思潮の変化，近代諸科学や技術の発展の影響を意欲的に追究しようとしている。 b ロマン主義や自然主義などの文芸思潮を，自由主義やナショナリズムの進展といった社会状況と関連づけて考察し，文章にまとめる。 近代大都市文化の成立を，現在の都市化と比較しながら考察し，文章にまとめる。 c 19世紀欧米文化の美術作品の図版や文学作品などの一覧表から，その文化の特色に触れることができている。 d 19世紀のロマン主義や自然主義などの思潮に属する文芸作品，哲学と人文・社会科学，科学・技術の発展，および地理上探検に貢献した人物たちに関する基本的な知識を身につけている。	

	第12章　アジア諸地域の動揺	1．オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容	○	○	○	○	a 世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ勢力の干渉によるオスマン帝国と西アジア地域の変容について，関心を持って学習しようとしている。 b 西アジアでイスラーム教の伝統に回帰する動きやアラブ人のナショナリズムの萌芽がみられたことを，上からの近代化と比較しながら考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている19世紀の西アジアとバルカン半島の地図や図版を適切に活用している。 d オスマン帝国の動揺とタンジマート改革の挫折，アラブの民族運動，イラン・アフガニスタンの対応に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度
		2．南アジア・東南アジアの植民地化	○	○	○	○	a ムガル帝国の解体と東南アジアの植民地化について，関心を持って学習しようとしている。 b インド大反乱の社会的背景やタイの植民地化回避の理由を，ヨーロッパ勢力の進出と国内情勢の双方の視点から考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されているインド・東南アジアの植民地化を示す地図，図版や写真などの諸資料を適切に活用している。 d イギリスによるインドの植民地化とインド社会の停滞から発生した大反乱，ヨーロッパ諸国の東南アジアの分割と植民地化に関する基本的な知識を身につけている。	
		3．東アジアの激動	○	○	○	○	a アヘン・アロー両戦争，太平天国の動乱で清朝の支配が大きく動揺し，近代化への取り組みが始まったことを，関心を持って学習しようとしている。 清朝の冊封体制の解体と新興国家日本の台頭の中で，東アジアの国際秩序が再編されていったことを追究しようとしている。 b 民衆の結社運動と太平天国の動乱を，アヘン戦争後の社会不安と関連づけて考察し，文章にまとめる。 日本の明治維新とその後のヨーロッパ文明の導入による近代化がアジア諸国に与えた影響について考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されているロシアの東方進出や東アジアへの動向をあらわす地図，図版や写真，諸資料を適切に活用している。 d アヘン・アロー両戦争やロシアの進出により清朝が動揺し，洋務運動に代表される近代化への取り組みが始まったことに関して，基本的な知識を身につけている。 日本と清朝の朝鮮をめぐる対立が激化し，日清戦争がおこる過程に関する基本的な知識を身につけている。	

	第Ⅲ部　まとめ	主題学習Ⅲ　資料から読みとく歴史の世界	○	○	○	○	a 世界の近代化のモデルがヨーロッパの国家・社会・文化であったことを確認しようとしている。 マカートニーの中国訪問使節日記から，彼らが派遣された意図や中国の状況を確認しようとしている。 b 世界の一体化を進めたヨーロッパの国家・経済・文化の特徴を考察し，文章にまとめる。 マカートニーの中国訪問使節日記から，当時のイギリス人が中国人の国民性をどのようにとらえていたかを考察し，文章にまとめる。 c 諸地域世界の結合と変容を考察する際，異文化に接触した使節や旅行家の著作などの資料を適切に活用している。 マカートニーの例だけでなく，自ら選んだ資料や絵画，風刺画，写真などを読み解き，整理ｃ考察した内容を発表ｃ討論する。 d アジアの繁栄とヨーロッパ勢力の拡大を背景とした世界の一体化，ヨーロッパ中心の世界の構造化が進展していった過程に関する基本的な知識を身につけている。 主題を設定し，選択したその時代の資料を多面的ｄ多角的に考察し，読み解く技能を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度
	第13章　帝国主義とアジアの民族運動	1．帝国主義と列強の展開	○	○	○	○	a 欧米列強では軍事力の強化がはかられる一方で労働運動が高まりを見せるなど，国内の緊張が高まっていったことを関心を持って学習しようとしている。 b 19世紀後半から欧米で進展した第２次産業革命と，各国の帝国主義の動きを関連づけて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている移民や列強の海外植民地面積の比較図，カリブ海地域の地図や図版などの諸資料を適切に活用している。 d 帝国主義の特質と，帝国主義時代における欧米列国の国内問題に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度
		2．世界分割と列強対立	○	○	○	○	a 欧米列強が植民地獲得や勢力圏拡大の競争を繰り広げた結果，列強の二極分化が進み，第一次世界大戦につながる危機が高まっていったことを関心を持って学習しようとしている。 b 経済力と軍事力を背景とする欧米列強の支配による世界の一体化が，世界各地の社会の変容に与えた影響について考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されているアフリカ・アジア・太平洋地域の関連地図，同盟・協商関係図や図版などの諸資料を適切に活用している。 d 欧米列強のアジア・アフリカ・太平洋地域・ラテンアメリカにおける植民地獲得や勢力圏拡大の競争に関する基本的な知識を身につけている。 列強の二極分化の過程とバルカン半島をめぐる危機の高まりに関する基本的な知識を身につけている。	

		３．アジア諸国の改革と民族運動	○	○	○	○	a 帝国主義列強の侵略にさらされたアジア諸国における民族運動の形成と，このような世界情勢の中で日本が列強としてアジアへの勢力拡張に加わったことを，関心を持って学習しようとしている。 b 帝国主義列強の植民地支配を受けたアジア諸地域で民族意識が覚醒し，解放・独立をめざすナショナリズムの運動が展開されていったことを，現在の国際状況や問題と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている，東アジアにおける列強の勢力圏を示す地図や図版を活用し，現在に残る影響を把握しようとしている。 d 中国分割の危機と辛亥革命，インド，東南アジア，西アジアにおける民族運動の形成に関する基本的な知識を身につけている。 日露戦争や韓国併合に見られる近代日本の台頭に関する基本的な知識を身につけている。	
	第14章　二つの世界大戦	１．第一次世界大戦とロシア革命	○	○	○	○	a 第一次世界大戦勃発の経緯，戦時外交と総力戦の性格について，関心を持って学習しようとしている。 ソ連邦成立に至るロシア革命の進展を，関心を持って学習しようとしている。 b 第一次世界大戦の原因や性格について，これまでの戦争との違いを多角的に考察し，文章にまとめる。 社会主義国家の誕生という，ロシア革命の世界史的な意義と影響について，多角的に考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されているバルカン諸国や第一次世界大戦の戦場となった地域や領土拡大をあらわす地図，新兵器などの図版を適切に活用している。 d 第一次世界大戦の帝国主義諸国間の覇権争いとしての性格，経過と影響に関する基本的な知識を身につけている。 ロシア革命の展開と，ソ連邦の成立過程に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度
		２．ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	○	○	○	○	a 戦間期の国際協調と平和への取り組みが実を結ばなかった理由について，関心を持って学習しようとしている。 b ヴェルサイユ・ワシントン両体制のもたらした緊張関係や矛盾を多角的に考察・追究し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されているドイツ国境を中心としたヨーロッパの地図，ドーズ案後の資本の国際的循環を示す諸資料，図版・写真などを適切に活用している。 d ヴェルサイユ・ワシントン両体制の問題点と，アメリカの繁栄，ソ連邦の社会主義建設といった欧米諸国の動向に関して，基本的な知識を身につけている。	

		３．アジア・アフリカ地域の民族運動	○	○	○	○	a アジア諸民族の民族運動が大衆的な基盤を持ち，世界史の新しい潮流をつくり出したことについて，関心を持って学習しようとしている。 b 日本と中国，イギリスとインドやイスラーム諸国といった，干渉国と民族運動の高揚の関係を多角的に考察し，追究している。 c 教科書に掲載されている1920～30年代の中国，第一次世界大戦後の西アジアの地図，図版・写真などを適切に活用している。 d 中国における民族運動の高揚，ガンディーを中心としたインドの民族運動，ムスタファ＝ケマルによるトルコ革命など，アジア諸地域で展開された大衆的な基盤を持つ民族運動に関する基本的な知識を身につけている。	
		４．世界恐慌とファシズム諸国の侵略	○	○	○	○	a イタリア・ドイツ・日本のファシズムの特徴と勢力拡張の過程について，関心を持って学習しようとしている。 b ファシズムという運動を20世紀における大衆社会の出現と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている世界恐慌中の工業生産の推移を示す諸資料，日中戦争の地図，図版・写真などを適切に活用している。 d 世界恐慌の影響と欧米諸国の対応，ファシズム諸国の攻勢やソ連邦の動向に関する基本的な知識を身につけている。	
		５．第二次世界大戦	○	○	○	○	a 第二次世界大戦の開戦に至る経過，戦争の拡大と戦場の広域化，核兵器などの大量破壊兵器の被害などを，関心を持って学習しようとしている。 b 第二次世界大戦の持っていた複合的で複雑な性格を戦後の国際社会の方向性と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されているヨーロッパ戦線や太平洋戦争の地図，図版・写真などを適切に活用している。 d 第二次世界大戦におけるヨーロッパから太平洋に至る戦場の広域化，強制収容所の建設や核兵器の使用といった残虐行為など，戦争の惨禍に関する基本的な知識を身につけている。	

	第15章　冷戦と第三世界の独立	1．戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立	○	○	○	○	a 米・ソそれぞれの経済協力と軍事ブロックの形成による冷戦構造について，関心を持って学習しようとしている。 アジア諸地域の独立と建国時の困難さに関して，関心を持って学習しようとしている。 b 親ソ政権樹立による東欧諸国の社会主義化とアメリカ合衆国の経済援助や「対ソ封じ込め」政策を比較しながら考察し，文章にまとめる。 アジア諸地域で推進された民族運動と干渉国の関係を多角的に考察b 追究している。 c 教科書に掲載されているドイツとベルリンの分割図，第二次世界大戦後のアジア諸地域の独立を示す地図や図版を適切に活用している。 d 国際連合を柱とした戦後の世界秩序の形成，ヨーロッパの東西分断と冷戦体制の確立，アジア諸地域の独立に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度
		2．米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興	○	○	○	○	a 朝鮮戦争後，核兵器開発競争や平和共存政策といった国際的な緊張a 融和がくり返されたことについて，関心を持って学習しようとしている。 b 西欧や日本の経済的な復興や高度成長を，戦後の国際政治に与えた影響と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている朝鮮戦争の戦場をあらわす地図，冷戦時代の諸同盟や先進国の経済成長率などの諸資料，図版・写真を適切に活用している。 d 朝鮮戦争後の「雪どけ」と平和共存への試みに関する基本的な知識を身につけている。 アメリカに続く西欧や日本の復興と経済成長に関する基本的な知識を身につけている。	

		３．第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り	○	○	○	○	a 経済的自立の困難さや開発独裁体制の成立，中国の混乱など，第三世界諸国における危機について，関心を持って学習しようとしている。 ベトナム戦争やチェコスロヴァキア軍事介入など，米・ソ両大国の動揺について，関心を持って学習しようとしている。 b アジア・アフリカ新興独立諸国による第三世界の台頭とキューバ危機以降の米・ソの政策を，冷戦の緩和と関連づけて考察し，文章にまとめる。 中東戦争の経過を考察し，年表や文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている中東戦争によるイスラエルの領土拡大をあらわす地図，諸地域の図版・写真を適切に活用している。 d アジア＝アフリカ会議や非同盟諸国会議などに見られる，第三世界の連帯の動きに関する基本的な知識を身につけている。 キューバ危機やベトナム戦争，中ソ対立やソ連の東欧諸国に対する介入，西ドイツの東方外交による緊張緩和の進展などに関する基本的な知識を身につけている。	
		４．石油危機と世界経済の再編	○	○	○	○	a オイル＝ショック以降の先進国の社会変容や新自由主義的改革，途上国の工業化について，関心を持って学習しようとしている。 b 冷戦の終結をゴルバチョフによるソ連の改革と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されているチェルノブイリ原子力発電所の事故の写真などを，環境破壊の考察に適切に活用している。 d オイル＝ショックなど戦後政治の転換期の動向や冷戦終結への取り組みに関する基本的な知識を身につけている。	
	第16章　現在の世界	１．社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展	○	○	○	○	a 通商の自由化と市場経済の世界化がより進展し，地球規模での相互依存が高まったことを学習しようとしている。 b 東欧社会主義圏の解体とソ連邦の分裂，消滅について，その歴史的意味を多角的に考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている独立国家共同体の地図，ヨーロッパ統合の歩み，国内総生産による世界地図などの諸資料や写真を適切に活用している。 d 東欧社会主義諸国の改革，ソ連邦やユーゴスラヴィア連邦の解体過程，ＥＵやＮＡＦＴＡなど先進経済地域の統合化の動きに関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度

		２．途上国の民主化と独裁政権の動揺	○	○	○	○	a ラテンアメリカやアジアの途上国における強権支配の後退と民主化の進展について，関心を持って学習しようとしている。 b 中国・ベトナムで進む市場開放と工業化の進展を，その抱える矛盾と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている天安門事件の写真などを適切に活用している。 d ラテンアメリカやアジアの途上国で進展した民主化の過程と，アジア社会主義諸国の経済開放政策やその変容に関する基本的な知識を身につけている。	
		３．地域紛争の激化と深刻化する貧困	○	○	○	○	a 新たな地域紛争の頻発，経済格差や深刻化する貧困問題など，現代の諸地域世界の情勢について関心を持って学習しようとしている。 b 湾岸戦争とアフガニスタンやイラクに対する対テロ戦争における国際連合の行動の差異から，新たな国際秩序の在り方を考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されているＰＫＯ派遣数の資料や写真などを適切に活用している。 インターネットや新聞などから国際社会の課題に関する情報を収集し，活用している。 d 東欧やロシア，中東からアジアにかけて多発する地域紛争，アフリカの民主化と貧困問題，対テロ戦争と紛争解決や軍縮の試みに関する基本的な知識を身につけている。	
		４　現代文明の諸相	○	○	○	○	a 情報技術革命や生命科学の進展がもたらした生活の変化と，それに伴う環境問題などについて，関心をもって学習しようとしている。 b 地球環境の破壊といった現代文明の危機を多角的に考察し，「多文化主義」や「共生」といった思想を探究し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている写真に加え，科学技術の発達がもたらした現代文明の課題に関する資料を，インターネットや図書館などを利用して収集し，レポートの作成，討論を行っている。 d 科学の実用化に伴う生活や環境の変化，現代文化の思想的な枠組み，現代文明による地球的規模での危機や新しい模索に関する基本的な知識を身につけている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。